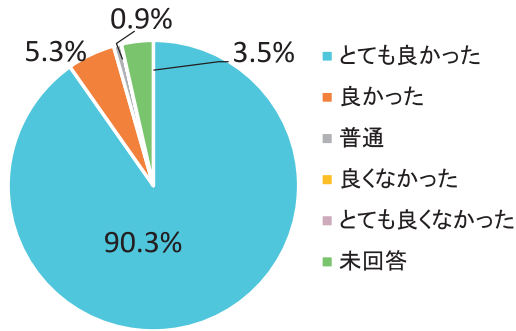


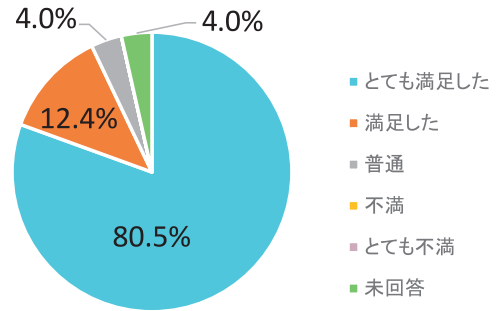
令和4年度 へき地校体験実習 事後アンケート (令和5年3月31日現在)

実施者：北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター
 実施形式：直前指導もしくは実習手帳提出時に配付
 実施期間：令和4年8月～10月
 対象者：127名（札幌・旭川・釧路校 へき地校体験実習〔夏期：1週間〕受講生）
 回答者：113名（回答率90.0%）

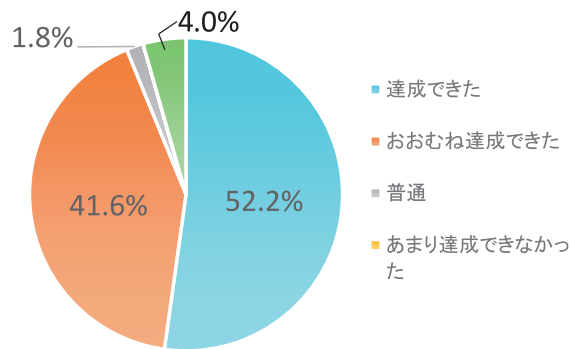
1. 実習に参加してよかったか



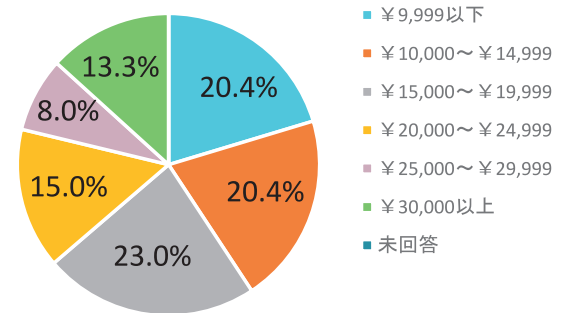
2. 実習の満足度は



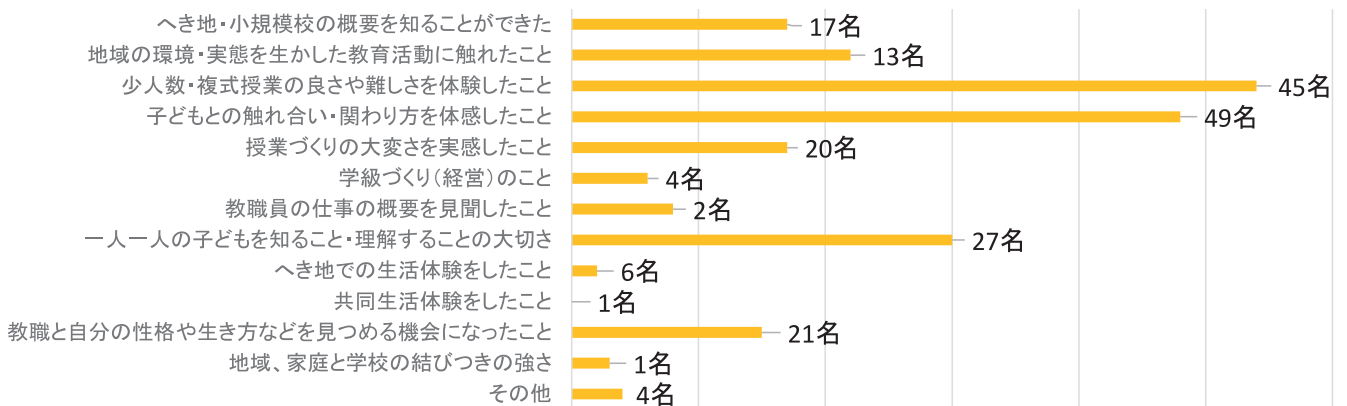
3. この実習で学ばなかったことに対する達成度



4. 実習経費



5. 今回の実習で最も大きな成果・学んだこと・感じたことなど(1名2項目回答)



令和4年度 へき地校体験実習Ⅰ・Ⅱを終えて～受講生アンケート

実習を終えた感想

- 学校で教育を学んでいるときには理想しか思い浮かびませんでした。実際に現場に入ってみると、その理想とは異なること、想像以上に良いと思ったことがたくさん出てきました。このような現場でしか学べないことを2年生のうちに学べて本当に良かったと思います。そして何より〇〇小学校をはじめとした〇〇村のみなさんがとても温かく大好きになりました。札幌市に就職することしか考えていませんでしたが、留萌管内や地元の空知に就職することも考え始めました。このように人生の選択肢を広げてくれる最高の実習になりました。コロナ禍の中で子どもとこんなに密に関わることができたのも今回初めてだったため、とても思い出に残る実習でした。
- 受け入れ先の先生方がとても配慮してくれたため、実習を行いやすかったし、そこでの学びは莫大なものとなりました。この経験は将来の糧となることは間違いないし、自分もへき地・小規模校での勤務もいいなと思った。
- とにかく地域全体があたたかくて、1週間があっという間に過ぎました。毎日スクールバスで児童と通うので、その待ち時間に児童とたくさん話したり、見送りに来ていた保護者と関わることができ、地域について知ることができました。また、観光地という他とは少し違った地域に住む児童について知れたことがよかったです。
- とにかく1日でたくさんの出来事があったり毎日疲れていました。ただ、その分学べることはとても多く、その中には今までの自分の価値観を変えるものもありました。生徒や先生方、地域の方々も本当に優しく、会うのが楽しみになるほどです。本当にこの実習に行ってよかったです。
- 自分にとって初めての教育実習であり、大きな不安を持ちながら実習校に足を運んだのだが、先生方の優しさや子どもたちの姿によってその不安が一気になくなり、楽しく実習期間を過ごすことができた。もちろん学びもたくさん得ることができた。
- 子どもの前に立って実際に授業を試してみたり、子どもたちと関わったりと、短い実習期間の中でとてもたくさんのことを経験させていただいたことで、自分の成長を感じられる実習になったと思う。特に、複式授業を実際にさせていただいたという経験はとても大きなものであると感じた。来年の本実習では複式授業をすることはないため、この実習でしか経験することができないのはもちろんだが、2学年の別の授業を同時に進めていくということは想像以上に難しく、実際に経験してみないとわからない課題や難しさがあるということを学んだ。
- 実習を終えて、教師になりたいという気持ちがさらに強くなった。実習中楽しいことばかりではなかったが、それでも教師のやりがいや子どもたちとのかわりの難しさを知ることができ、自分も子どもと正面で向き合えるような教師になろうと決意が固まった。
- 実習を終え、勇気を出してへき地校体験実習に参加して本当に良かったと思います。子どもたちは本当に優しく素直でとてもかわいかったです。何より、自分の欠点や本実習までに改善したいところを発見し、向き合う機会を作れたことや、複式学級を上手に回すコツや授業の構成の仕方の工夫などを直接現場の先生から教えていただき、それを生かして実際に授業を実施できたことが本当に自分の力になりました。
- 初めは、実習校の子どもたちと仲良くなれるのかという緊張や授業をすることへの不安が多くあったが、実際にへき地校に行ってみて子どもたちの素直な人柄や先生方の優しい指導のおかげでとても楽しくて身になる貴重な実習になった。今後5週間の実習があるが、授業を観察するときや子どもと遊ぶとき、児童・生徒理解を第一に考え、研究授業に生かせるような工夫を凝らした自分らしさのある実習にしたい。

- 実習Ⅰ、Ⅱを終えてからのへき地校体験実習であったため、大規模校と小規模校を比較することができ、より深い学びを得ることができたと思う。ただ生徒との関わりについてはもう少し積極的に行動できていたらよかった。
- へき地の先生方は職員の人数が少ない分、一人一人における仕事量が多いということを子どもたちと交流する中で知ることができた。忙しい中でも子どもたちとコミュニケーションを怠らないことが信頼関係や実態把握をする中でとても大切になるのではないかと思った。臨機応変に対応する力や経験値などが本当に必要であることを、観察を通して学ぶことができた。
- 指導案や実習記録を寝不足になりながら作ったり、あまり綺麗ではない宿舎に泊まったりと、大変だと感じることもたくさんありました。しかしそれ以上に、自分のためになることをたくさん学べた一週間でした。何より学校に行くのが毎日楽しく、こんなに良い学校で実習をさせていただくことができた自分は、とても幸せだと感じます。一緒に共同生活をした2人にもたくさん助けられました。今回、この実習を経験できて、本当に良かったです。
- 少人数の特徴が多く見られ、またそれに対応した先生方の工夫も間近で観察することができ、授業方法の工夫の仕方を学ぶことができた。児童との距離も近く、人数も少ないため、一人一人とたくさんの時間を過ごすことができ、短期間ではあったが、その中でも個性や違いを見つけられたのがうれしかった。学校全体が温かい雰囲気、地域との関わりも深いことが感じられる、とても良い経験となった実習だった。
- 実習中はとても大変で、多くの児童は関わろうとしても気を遣っていたり警戒していたりと気軽に関わることが難しく、辛いことも多かった。しかし、最終日には5年生の児童から一人一人のコメントと写真が貼られていた色紙をいただいたり、4日しかいなかったのにお別れ会を開いてくれたりと、へき地・小規模校ならではの学校・学年の温かさや教師の人柄の良さを実感することができ、参加してよかった、将来へき地・小規模校で一度は教師をしたいと思った。
- 実習では子供たちとのかかわりや全校道徳での発表を通して自分の表情やコミュニケーション能力といった点で多くの課題を見つけることができ、課題を改善するために試行錯誤して子どもたちと関わっていく中で成果も見え、自身にもつながった。小規模な学校だからこそそのメリットを見つけることが出来、中学校と小学校の違いも体験できて将来の進路の選択の視野も広がってかなり身になる実習だった。
- 今回の実習では、将来の夢が明確になったので参加することができて良かったです。以前までは特別支援学校で勤めるか、小学校で勤めるか、高等学校で勤めるか定まっていなかったのですが、今回の実習を通してへき地や小規模校の小学校、義務教育学校で働きたいと思うことができるようになりました。
- 頭に入ってくる情報が多すぎて大変になるほど学びのインプットが多い実習でした。他の実習とは異なり、私は一人であり、中学校であったことが学びが大きかったポイントだと感じました。小学校教師を目指す人間でも一度は中学校の環境を経験しておくことも大切だと感じました。実習に関わってくださった全ての方に感謝したいです。
- 一週間という期間が長くも短くも感じた。学校の外に出る授業や参観日などの様子から〇〇小学校が地域にとっても大切にされている学校であるということを実感した。子ども理解に関しても簡単な部分から学ぶことができ、個を理解することが全を動かすことにつながるということを実感した。へき地ならではの教育にも触れることができ、とても勉強になったと感じる。